

特定非営利活動法人やっべす第11期事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

1 事業の成果

第11期は、管理部門を除き11の事業を実施しました。事業は3本の柱で構成しています。1つ目の柱である「女性の活躍推進」では、女性の能力がさらに活かされる地域社会につなげることを目指し、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループの助成を受け、2019年度から3年間の継続事業「ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業」を実施しました。前年度までの2年間で、ストレス対処の手法の資格を取得した地域女性25名(コーチング8名、メンタルヘルスアドバイザー10名、レジリエンスコンサルタント8名)は、団体が実施する相談業務の相談員や、宮城県や石巻市から受託した女性人材育成スクールの講師として活躍しながら、新人講師のネットワーク会議や、ブラッシュアップ講座を実施し、助成期間終了後も継続して活動ができるようサポートをしました。この新人講師らは、団体から離れ、女性講師集団「MRC25(まきレンジャークラブ25)」を自主的に立ち上げ、今後も心のケアや人材育成の活動を継続して行う予定となっております。

宮城県からの委託を受け実施した、「みやぎの女性つながりサポート型支援事業」では、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、経済的・精神的困難に陥った女性たちへの相談支援を、石巻地域及び仙台北地域の2地域において実施しました。対面や電話、またはメール、オンライン等での相談に加え、アウトリーチ型支援・同行支援・生理用品の提供など、相談者の実情に合わせ包括的に支援することができました。

2つ目の柱である「子育て支援」では、コミュニティスペースパタフライにて、やっべす！ママこども食堂を継続して開催しました。昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、少人数・お弁当配布制で実施。各回相談員を配置し、子ども達の遊び場と気軽に相談ができる場として、沢山の親子に参加していただき、開催総回数210回、総参加人数1098名(大人:517名/子ども:581名)にのびりました。

また、2020年7月から実施している石巻市の委託事業「子育て世代包括支援センターいっしょいっしょ」では、利用者支援事業・地域子育て拠点事業・助産師による産前産後「心からだのトータルケア推進事業」という構成で、相談支援、情報提供、講座を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施しました。2年目である今年度は、地震や新型コロナウイルス感染症の影響により、1か月ほど休館した期間もありましたが、総来館者数4103名(大人:1808名/子ども:2225名)と多くの親子に利用していただき、来館者同士の交流や相談、学びの場を通じ、子育て中の孤立防止・不安や負担の軽減に寄ることが出来ました。

5月からは、石巻市内で産後4か月までの母親を対象とした、石巻市委託事業「産後ケア事業」を開始。産後の身体回復や心理的安定の促進のため、助産師による相談や沐浴のほか、骨盤ケアや子どもを預けるのランチ等、母親の休養と心身のケアができる機会を提供しました。

コロナ禍をきっかけに増加した子育て世帯からの相談や、行政機関等の関係各所からの相談により地域での必要性を感じ、前年度から運営を開始した「やっべすハウス(シェルター機能をもつ、貸しハウス)」を3棟に増設。年間のべ12世帯が利用し、稼働率(入居日数/設置期間の日数)は2020年度の43%に対し、2021年度は80%と大幅に増加しております。フードパントリー事業も常時対応ができるよう棚やストックカーを増設拡充し、年間200世帯を超える子育て世帯の家庭に食材等の物資を提供しました。子ども食堂やフードパントリーは新型コロナウイルスの影響により全国的にも注目されており、企業や団体だけでなく、個人の方からも食材や生活用品のご寄付をいただく機会が増え、地域の子どもたちを地域の人たちが支えるという意識が根付いてきていると実感しております。

3つ目の柱である「復興支援活動」では、コミュニティ形成と住民の生きがい創出を目的としたサロン活動やイベントを、復興公営住宅の集会場や当団体ホールを会場に年間76回実施。バス遠足を年間3回実施しました。サロン活動やイベントの参加者数はのべ1170名。地域住民が講師を務める「やっべすカレッジ」では、クラフトバンド教室やすずめ語り、パン作り教室などのほか、グランドゴルフを始めたことで男性の参加も増加し、住民の活躍の場と交流の機会を作ることが出来ました。昨年度は新型コロナウイルスの流行に加え、大きな地震が続いたため、活動を中止せざるを得ない期間もありましたが、電話による心のケアや、脳トレドリル、ヨガやすずめ語りのDVD配布やYouTube配信などを行い、住民の孤立防止や生きがいづくりに繋げることが出来ました。次年度も新たな住民講師を発掘、開催場所を増やし、地域住民主体の活動を根付かせていきます。

復興コーディネート事業では、三越伊勢丹グループ労働組合の皆さんと公営住宅の住民さん15名が集まる会場をオンラインで繋ぎ、水引ワークショップと交流会を行ったほか、昨年度に引き続き、取材やビデオ撮影によって、現地に赴くことができない方たちに、地域の現状を伝えていただきました。

グッズ販売では、無事かえるシリーズ第10弾として、折りたたみクッション・ビーンドール用リュックサック・ホイッスルの3種が発売され、好評をいただいております。

尚、今年は3月11日に活動報告会を石巻で実施しました。団体の活動を応援して下さる皆様と地域住民の皆様へのべ100名を超える方たちへ、1年の活動報告を実施し、今後の事業展開につなげました。

2 事業に関する事項

事業名		事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)	
女性の活躍推進	1	みやぎの女性つながりサポート型支援事業	相談受付-特定非営利活動法人やっべす事務所、電話またはメール、オンライン相談等 アウトリーチ型支援・同行支援・生理用品の提供-仙台北地域及び石巻地域	(実施期間は2021年7月～2022年3月)	石巻市内の会場(石巻市・東松島市・女川町) 仙台北地域(塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村)	3	石巻地域、仙台北地域に住む女性(年齢を問わず)	6,939
	2	ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業	コーチング、メンタルヘルス、レジリエンスの資格取得した新人講師のさらなるエンパワーメントを目指すため新人講師のためのブラッシュアップ講座の開設とともに、新人講師の活躍できる登壇場を設ける。	通年(前期からの継続事業) (実施期間は2021年5月～2022年4月)	石巻市内の会場	3	地域で女性の癒し・ヘルスケアを主に活動している女性や子育てサークルを主宰する女性	4,226
	3	創業支援事業	・石巻やその周辺地域の起業家等にインキュベーションオフィスとしてスペースの一部を貸し出す。 ・地域で求人する企業・団体と、就労を希望する人とをマッチングし、地域の雇用促進を図る。 ・創業支援等に関するセミナーを開催し、地域経済の活性化と雇用促進を図る。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内	1	宮城県内にて事業を営む事業者や経営者 又、潜在している起業家 就労希望者	50
	4	おうち仕事	手仕事(制作)を依頼したい企業と共同で、ママたちへ内職を提供している。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内	1	石巻市及びその周辺の市町村在住の女性	261
	5	Amanecer	アクセサリーを取り扱うECサイトの運営	通年(前期からの継続事業)	石巻市内 (販促地域は全国)	2	石巻地域及び周辺地域に住む女性	
子育て支援	6	石巻市子ども・子育て利用者支援等事業	利用者支援事業と地域子育て支援拠点の機能を一体的に子育て支援事業等を実施する	令和2年7月1日から令和5年6月30日まで	石巻市ささえあいセンター 2F いっしょいっしょえきまえ	16	市内に居住する0歳～18歳未満の子ども、子育て中のママ・パパ・祖父母の方(妊娠されている方も含む)	10,423
	7	ママこども食堂	・子育て相談会や親子向けのワークショップや学習支援を含む、ママこども食堂事業 ・子育て中の困窮世帯を対象としたフードパントリー事業 ・生活困窮が原因による子どもの学力低下の対策の学習支援事業	通年(前期からの継続事業)	コミュニティスペース・パタフライ ほか	2	・石巻地域で子どもを養育している母親 ・石巻地域で子ども食堂を開催している団体 ・コミュニティ作りの場所を探している女性	8,839
	8	石巻市産後ケア事業 Happy Birthday Mama ～産んでくれて、ありがとう～	産後間もない時期に、母親の身体的回復や心理的安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう、助産師などが中心となり支援する。	通年(前期からの継続事業)	石巻市周辺地域の復興住宅の集会所等	2	復興住宅入居者 および以前、仮設住宅に入居していた住民等	530

2 事業に関する事項

事業名		事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)	
復興支援活動	9	復興住宅 心の復興事業	復興公営住宅の集会所・当団体のホールにて、住民のニーズに合ったサロン活動やイベントを開催する。サロンの講師は地域住民または復興住宅、自宅再建の方々をお願いすることにより、出番と居場所を作る	通年(前期からの継続事業) (期間は2020年6月～2021年3月)	石巻市内女川町内や宮城県内の復興住宅の集会所など	2	その周辺の市町村にお住いのす	4,409
	10	石巻復興コーディネート事業	被災地での支援活動を希望する個人、企業、NPOに対し視察、ボランティア、研修などのプログラムを企画し、提供する。	通年(前期からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	5	被災地での人材研修、ボランティア作業および視察を希望する個人、企業、NPOなど	51
	11	グッズ販売事業	無事かえるシリーズの商品監修、販売	通年(前期からの継続事業)	全国の防災意識を認識しているコミュニティ層	2	全国	35
	12	管理部門および共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規定およびルールの策定</li> <li>・全体mtgの運営</li> <li>・理事会、総会の開催とその準備</li> <li>・監督官庁への報告</li> <li>・事業計画と事業報告の作成</li> <li>・総務・経理</li> <li>・人事(新スタッフの募集)</li> <li>・給与体制の見直し</li> <li>・メルマガ(やっべす通信)の発行(1回/3月)</li> <li>・ブログやFB、Twitterでの情報発信</li> <li>・活動報告会の開催</li> <li>・年次報告書の作成</li> <li>・各種取材、調査やアンケートへの対応</li> <li>・助成財団や支援者、行政や関係各所とのやりとり</li> <li>・寄付対応</li> <li>・いしのまき会議(いしのまき市民公益活動連絡会議)への理事としての参加</li> <li>・ウェブサイトの修正</li> </ul>	通年	事務所	5		12,139

事業の柱	事業名	収益/非収益	事業の目的	事業内容	事業概要	事業実施日時・期間	事業実施場所	事業マネージャーおよびスタッフ	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	活動資金	今期の事業の成果(アウトプット)	今期の事業の成果(アウトカム)	今後の課題	第12期以降の展開イメージ、課題
<p>(3) 石巻市内及びその周辺における雇用の創出及び起業の促進等に関する事業</p>	1	みやぎの女性つながりサポート型支援事業	非収益	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済的困難に陥るなど、孤独・孤立で不安を抱える女性の心理面に寄り添った相談支援に加えて、同行支援や生理用品の提供、自立支援や就業支援との連携など、地域女性の実情に合わせて包括的に支援することにより、地域の女性の社会参画、活躍進進に資することを目的とする。	相談受付-特定非営利活動法人やっべす事務所、電話またはメール、オンライン相談等 アウトリーチ型支援・同行支援・生理用品の提供 一仙台北地域及び石巻地域	(実施期間は2021年7月～2022年3月)	石巻市内の会場 (石巻市・東松島市・女川町) 仙台北地域(塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大町・大衡町・大衡村)	戸田環本 片石	3	石巻地域、仙台北地域に住む女性(年齢を問わず)	宮城県からの助成金、	■公認心理士・コーチングコーチ・レジリエンスコンサルタント・メンタルヘルスアドバイザーによる相談窓口・出張相談会・電話相談を実施 ■2021年7月21日～2022年2月28日 石巻地域 相談員対応件数 191件(アウトリーチ・同行支援含む) ■2021年7月21日～2022年2月28日 仙台北地域 相談員対応件数 23件(アウトリーチ・同行支援含む) ■相談員23名が相談員として活動した。 ■こころびす相談窓口の設置	・相談窓口、電話相談を行うことで始めは毎日相談に来ている方が月一回、週に一回相談回数が減少し、こころの安さに繋がっている。 ・相談窓口を作ることで、コロナ禍でストレスを抱える女性たちが様々なサポートにつながるよう働きかけができた。	・市役所や県との連携体制の強化。 ・自治的な運営体制の構築。 ・相談窓口の充実が望まれるし、そのうえで相談員に対してしっかりしたスーパーバイザーの存在が求められる。コーチ、メンタルヘルスアドバイザーやレジリエンスコンサルタントといった役割の重要性をふまえたうえで、新たな相談員の養成と相談員の心身ケアを担うスーパーバイザーのしきを整えること	・相談窓口設置の継続 ・多様な相談に対応できるよう相談員の学びの場の確保
	2	ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業	非収益	石巻地域の女性がストレスと向き合い、自らを回復させる力をつけ、女性の能力がさらに活かされる地域社会づくりの実現を目指す。	コーチング、メンタルヘルス、レジリエンスの資格取得した新人講師のさらなるエンパワーメントを目指すため、新人講師のためのブラッシュアップ講座(全10回)を開設、実施。県の特約委託としてみやぎの女性つながりサポート型支援事業、石巻市の委託としては「issyoいっしょえきまえ」(石巻市女性人材育成セミナー(通称:まきゼン))、石巻市産後ケア事業(HAPPY BIRTHDAY MAMA)」など行政と連携し、幅広く事業を展開し、地域の女性のメンタルケアに取り組んでいます。	3年目(前期からの継続事業) (実施期間は2021年5月～2022年4月)	石巻市内の会場	戸田環本 片石	3	地域で女性の癒し・ハルシエを主に活動している女性や子育てサークルを主宰する女性	ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループからの助成金、自己資金	■新人コーチによる講座など実施サポート ■新人講師8名が講座実施(5回)や相談員として活動した。 ■新人レジリエンスコンサルタントによる講座など実施サポート ■新人講師8名が講座実施(6回)や相談員として活動した。 ■新人メンタルヘルスアドバイザーによる講座など実施サポート ■新人講師10名が講座実施(6回)や相談員として活動した。 ■新人講師のためのブラッシュアップ講座(全10回)、25名が終了 ■令和3年度第1回/第2回 講師ネットワーク会議の開催 ■講師のデモストレーション講座の実施や年度の取り組みについての話し合い ■ストレスチェックアンケート・ストレスケア事業報告会の開催 ・2020年12月15日～2021年1月30日と2021年12月1日～2022年1月31日の期間にランダムに抽出した石巻在住の10代～70代を対象にストレスチェックアンケートを実施し、分析は中央大学の広岡守穂教授にご協力頂いた。	・新人講師のためのブラッシュアップ講座アンケート結果より、93.5%の受講生が「満足」とても学びの深い有意義の講座の時間」と回答。 ・ストレスチェックアンケートの結果から「ストレスコントロールが難しいのは仕事を持たない女性」ということが分かった。 ・石巻市女性人材育成セミナー(通称:まきゼン)にて、受講生延べ114名に対し、新人講師9名がセミナー講師を務めた。 ・石巻市家庭教育支援学級講師として、新人講師25名が登録。 ・宮城県みやぎの女性活躍ネットワーク事業「GIFT」(受講生25名)にて、新人レジリエンス講師5名がファシリテーターを務めた。 ・石巻市子ども子育て利用者支援事業「issyoいっしょえきまえ」にて、新人講師3名が相談支援を実施。 ・宮城県みやぎの女性つながりサポート型支援事業にて、仙台北・石巻の2地域の相談者200名に対し、新人講師25名が対面、電話などの相談支援を実施。 ・石巻市子ども子育て利用者支援事業「issyoいっしょえきまえ」にて、新人講師10名が相談員としてのべ3623名の相談者(子育て中の母親)に対し、相談支援を実施。 ・やっべすママこども食堂で、新人講師7名が相談員として517名の相談者(子育て中の母親)に対し相談支援を行なった。 ・やっべすハウス(シェルター機能をもたせた貸しハウス)入居者8名に対し、相談支援を行なった。	・東松島市女性人材発掘・育成セミナーの開催 ・メンタルヘルスアドバイザーはファシリテーターとしてみやぎの女性活躍ネットワーク事業「GIFT」を開催 ・みやぎの女性つながりサポート型支援事業(石巻地域)継続決定 ・まきゼン・クラブ25を結成し、「メンタルの強い石巻」を目指し、今後もグループとして地域で活躍していく	
	3	創業支援事業	収益	宮城県内の起業家もしくは経営者らの創業支援拠点の運営とこれまで支援した受益者らへのフォローアップを継続的に実施し、地域の産業発展に寄与する。	・石巻やその周辺地域の起業家等にインキュベーションオフィスとしてスペースの一角を貸し出す。 ・地域で求人する企業・団体と、就労を希望する人とをマッチングし、地域の雇用促進を図る。 ・創業支援等に関するセミナーを開催し、地域経済の活性化と雇用促進を図る。	石巻市は震災以前より過疎化、少子高齢化問題が深刻な地域であることから、人口減少による市場圧迫などに左右されない自立した形での地方経済圏(創業主産)の安定化と、産業シームの新陳代謝を活性化させる「ヒートマップ」の循環する基盤を整備することが重要であると考えています。 そのため、本事業では、創業希望者や既存の起業家らが時代の変化の速度に合わせて学び続けられる土壌と、彼らが講師として後発の起業家らに学びを提供し続けられる土壌の2つを創出します。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内	兼子	1	宮城県内に事業を営む事業者や経営者又、潜在している起業家就労希望者	寄付金、自己資金	■【寄付で市民活動を支えるイベント!】池上彰氏講演会「アフターコロナに備え、いま私たちにできること」開催 ■参加人数46名 ■集まった寄付金額208,898円 ■創業、経営等相談対応件数延べ 10件	・石巻で起業を考えている若者に対して、事業開始までのプロセスを伝えるとともに、既にその業界にて取り組まれている起業家の方をマッチングした。 ・個別でプレゼン資料の作成、補助金の申請書の作成をサポートし、補助金が決定した。 ・相談者と税理士等の専門家をお繋ぎすることで、経営の改善や効率化に役立てることができた。	・コロナ禍により、起業家にも厳しい状況が続いており、事業継続等に向けての支援が必要である。
<p>(5) 石巻市内における雇用の創出及び起業の促進等に関する事業</p>	4	おうち仕事	収益	外で働けず収入を得る機会を創出するための事業	手仕事(制作)を依頼したい企業と共同で、ママたちへ内職を提供している	通年(前期からの継続事業)	石巻市内	松坂	1	・石巻市及びその周辺の市町村在住の女性	(株)イストワール、(一社)rennsa、ナカジマコーポレーションからの制作費、管理費	■(株)イストワール 水引きマスクチャームアクセサリー制作、検品、値札作り ■(一社)rennsa アズボスールレザーアクセサリーリング、キーホルダー類、ピアス、ネックレス、ブレスレット制作 ■ナカジマコーポレーション かえるのビジュアルティグズシール貼り	・延べ11名へ内職を依頼 ・支払内職費 ￥180,720(2021年5月～2022年4月まで) ・アズボスール新作レクチャーをオンラインにて実施。 ・やっべすカルッジで取り組んでいる水引チャームをイストワールのクラウドファンディングの返礼品に選んでいただき、やっべすカルッジ参加者2名に内職費を支払うことができた。 ・ナカジマコーポレーションから、メルティの石巻産サバ缶にシールを貼る作業を請けおった。	・内職希望者へ提供できる内職が少なく難しい。 ・技術面での個人差があり制作者が偏りがちになる。 ・ワークショップの定期開催をし、技術面のフォローをする。	・イストワール 値札下げ、アクセサリー制作 ・アズボスール レザーアクセサリー制作 ・ソリシタ アクセサリー制作 ・おうちしごとを紹介しているHP「Viento」イベントリニューアル実施
	5	Amanecer	収益	小さい子どもをもち、引きこもりになりがちな母親たちの社会参画の機会を創出する。	アクセサリーを取り扱うECサイトの運営	通年(前期からの継続事業)	石巻市内(販促地域は全国)	松坂兼子	2	石巻市及びその周辺の市町村在住の乳幼児を持つ母親	自己資金	■新規の商品を発売することが出来た。 ■制作者雇用数:2名	・新商品を3月に展開し、復興へ歩み続けるママたちのストーリーと未来への想いを商品という形で外部へ発信した。	・ほかにショップサイトを開設し、多方面にアプローチする。 ・具体的には、製作者や製作地、商品ストーリーを前面に押し出し商品開発生産は商品開発/年商品、新商品リリース時生産数2～3と減少させ人件費や資材費をカットする。	・大きな課題。 ・子育て世代包括支援センターとしての質の向上が早急に必要だと感じている。具体的には相談の繋ぎ方、報告書の書き方、地域資源の情報収集等 ・利用者としての意識、動きや子どもへの接し方等への理解を深めていく。
	6	石巻市子ども・子育て利用者支援等事業	非収益	石巻市ささえあいセンターにおいて、妊産婦相談含む相談支援や情報提供、子育てに関する講座を行うとともに、関係機関との顔の見える連絡調整を実施し、子育てに関する不安や悩みを持つ方の精神的負担の軽減を図る。	利用支援事業と地域子育て支援拠点の機能を一体的に子育て支援事業等を実施する	令和2年7月1日 から令和5年6月30日まで	石巻市ささえあいセンター2F いっしょいっしょ えきまえ	兼子(真) 兼子 高橋 相原	1/18	市内に居住する0歳～18歳未満の子ども、子育て中のママ・パパ、祖父母の方(育児されている方も含む)	石巻市からの業務委託金	■利用者支援事業 ・子育て等に関する相談件数 232件 ・広報:相談に関する発行物 1件 ・広報:産前産後に関する発行物 1件 ■地域子育て拠点事業 ・子育て及び子育て支援に関する講座開催 18回 66人参加 ・いっしょいっしょ えきまえ(2225)総来館者数 4103名 親/1808 子/225 ■助産師による産前産後「心とからだのトータルケア推進事業」 ・助産師が行う妊産婦相談件数 65件 ・助産師が行う妊産婦講座開催 13回 72名参加	2年目として、着実に地域の方に子育て世代包括支援センターとして認知、理解を頂きつつあると実感している。実際に来館者・相談件数が前年度比約+200人、妊産婦相談件数は約+10件となっている。また、今年度は2度、地震の影響で1か月、新型コロナウイルス感染症の影響で1週間ほど休館しているが、数字としては増加傾向にあることから、子育ての負担の軽減や子育て中の悩みについて相談できる場所、そして、子育てに係る講座を開催している場所として認知が進んでいるように感じる。また、地域子育て拠点として、来館された方同士で交流が生まれ、子育て中の孤立を防ぐことが出来ている。	・11期と変わらず、相談員(支援員)として意識、自覚を持ち、利用者に対して作業して支援を行っている。 ・広報物を使用し、大きな課題。 ・子育て世代包括支援センターとしての質の向上が早急に必要だと感じている。具体的には相談の繋ぎ方、報告書の書き方、地域資源の情報収集等 ・利用者としての意識、動きや子どもへの接し方等への理解を深めていく。 ・11期、昨今の世情を鑑みて講座のオンライン化を検討したが、子育て世代のニーズとマッチングせず、対面で行う講座の方が参加者が多いため、今後も感染症対策を徹底しながら開催していく。	
<p>(7) 本条各号に定める事業に係る施設等の管理運営に関する事業</p> <p>(8) その他、石巻市の復興に関する事業</p>	7	ママこども食堂	非収益	地域の母親たちが気軽に集い、悩みを共有できるコミュニティスペースを運営することで、子育て中の母親たちの孤立、不安を防ぐとともに、積極的に活動する母親たちのチャレンジを応援し、更にコロナ禍の状況でも安心して子どもと過ごす場所を作ること、子育てしやすいまちづくりを進める。	①子育て相談会や親子向けのワークショップや学習支援を含む、ママこども食堂事業 ②子育て中の困難世帯を対象としたフードパントリー事業 ③生活困難が原因による子どもの学力低下の対策の学習支援事業	通年(前期からの継続事業)	石巻市ささえあいセンター2F いっしょいっしょ えきまえ	相原 渡邊	2	・石巻地域子どもを養育している母親 ・石巻地域子ども食堂を開催している団体 ・コミュニティ作りの場所を探している女性	・公益社団法人 Civic Forceとパートナー事業 ・キュービーみらいたまご財団 ・匿名基金A ・積水ハウスマッチングプログラム ・第5回子供の未来応援基金	■やっべすママこども食堂開催総回数:210回 ■総参加人数 1098名 (大人:517名/子ども:581名) うち、子育て相談同時開催(83回) うち、こども食堂と組み合わせたワークショップの開催(全10回) ・アロマ虫よけスプレー作り、クワイアード、アーティフィシャルフラワー作り ・スバリ、手まり体験等、親子で楽しめるワークショップを実施	・地域の子育て中の母親に、気軽に子育て相談できる場、地域の子育て関連施設などの情報を提供する場として活用してもらうことができた。 ・コロナ禍の少人数制で実施したことにより、周りの目を気にせず相談することが出来た。更に少人数制のため、一か月の回数を昨年の倍に増やしたが、毎月90%以上の参加率であった。 ・こども食堂の参加から、行政や団体の講座受講に繋がり、母親のエンパワーメントに発展した。 ・遊戯場が少ない地域の現状において、親子で安心して全身を使って伸び伸びと遊べる環境を提供でき、コロナ禍のストレス緩和にもつながった。 ・石巻地域子ども食堂会議及び、みやぎ子ども食堂ネットワークへの参加により、県内様々な地域で活動している団体との交流・共有・連携が取れるようになった。 ・こども食堂やパントリー設置の活動が徐々に地域に浸透し、企業、団体だけでなく、地域住民等からも食料や物資の支援が増えた。 ・行政や地域の相談窓口との関係性が構築され、意見交換やケース会議等の機会も増え、地域の子どもたちを見守るネットワークが強化された。	・コロナ禍の収束に合わせて参加者人数を増やしていく。 ・みんなで一緒に食べるこども食堂の再開 ・今後もこども食堂や子育て相談会の開催を通して、ボランティアスタッフや地域住民のつながりを深めながら、食育の推進や安心・安全な場の提供、子育て中の保護者のサポートに努めていく。 ・ママこどもに関する、体さ動かす教室や学習支援事業などを交えイベント企画検討	
	(1) 石巻市及びその周辺の市民に対する市民活動の機会及び情報の提供に関する事業	7	ママこども食堂	非収益	地域の母親たちが気軽に集い、悩みを共有できるコミュニティスペースを運営することで、子育て中の母親たちの孤立、不安を防ぐとともに、積極的に活動する母親たちのチャレンジを応援し、更にコロナ禍の状況でも安心して子どもと過ごす場所を作ること、子育てしやすいまちづくりを進める。	①子育て相談会や親子向けのワークショップや学習支援を含む、ママこども食堂事業 ②子育て中の困難世帯を対象としたフードパントリー事業 ③生活困難が原因による子どもの学力低下の対策の学習支援事業	通年(前期からの継続事業)	石巻市ささえあいセンター2F いっしょいっしょ えきまえ	相原 渡邊	2	・石巻地域子どもを養育している母親 ・石巻地域子ども食堂を開催している団体 ・コミュニティ作りの場所を探している女性	・公益社団法人 Civic Forceとパートナー事業 ・キュービーみらいたまご財団 ・匿名基金A ・積水ハウスマッチングプログラム ・第5回子供の未来応援基金	■利用者支援事業 ・子育て等に関する相談件数 232件 ・広報:相談に関する発行物 1件 ・広報:産前産後に関する発行物 1件 ■地域子育て拠点事業 ・子育て及び子育て支援に関する講座開催 18回 66人参加 ・いっしょいっしょ えきまえ(2225)総来館者数 4103名 親/1808 子/225 ■助産師による産前産後「心とからだのトータルケア推進事業」 ・助産師が行う妊産婦相談件数 65件 ・助産師が行う妊産婦講座開催 13回 72名参加	2年目として、着実に地域の方に子育て世代包括支援センターとして認知、理解を頂きつつあると実感している。実際に来館者・相談件数が前年度比約+200人、妊産婦相談件数は約+10件となっている。また、今年度は2度、地震の影響で1か月、新型コロナウイルス感染症の影響で1週間ほど休館しているが、数字としては増加傾向にあることから、子育ての負担の軽減や子育て中の悩みについて相談できる場所、そして、子育てに係る講座を開催している場所として認知が進んでいるように感じる。また、地域子育て拠点として、来館された方同士で交流が生まれ、子育て中の孤立を防ぐことが出来ている。	・コロナ禍の収束に合わせて参加者人数を増やしていく。 ・みんなで一緒に食べるこども食堂の再開 ・今後もこども食堂や子育て相談会の開催を通して、ボランティアスタッフや地域住民のつながりを深めながら、食育の推進や安心・安全な場の提供、子育て中の保護者のサポートに努めていく。 ・ママこどもに関する、体さ動かす教室や学習支援事業などを交えイベント企画検討

やっべす 第11期(2021年4月～2022年3月)事業報告																
事業の柱	事業名	収益/非収益	事業の目的	事業内容	事業概要	事業実施日時・期間	事業実施場所	事業マネージャーおよびスタッフ	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	活動資金	今期の事業の成果(アウトプット)	今期の事業の成果(アウトカム)	今後の課題	第12期以降の展開イメージ、課題	
(7) 本条各号に定める事業に係る施設等の管理運営に関する事業	8 石巻市産後ケア事業 Happy Birthday Mama ～産んでくれて、ありがとう～	非収益	母親の心に寄り添い、母子ともに健やかな育児ができるようになる。	助産師が中心となり、日帰り施設利用して頂き、休養の機会を提供するとともに、母親自身のセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう、助産師などが中心となり支援しています。日帰りで施設利用して頂き、休養の機会を提供するとともに、母親の身体的・心理的ケアや、乳房マッサージ、児の発育の確認、育児の手法について具体的な指導及び相談を実施する。	石巻市からの受託事業として、産後間もない時期に、母親の身体的回復や心理的安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう、助産師などが中心となり支援しています。日帰りで施設利用して頂き、休養の機会を提供するとともに、母親の身体的・心理的ケアや、乳房マッサージ、児の発育の確認、育児の手法について具体的な指導及び相談を実施しております。	2021年5月開始 通年(予約制木曜日のみ)	やっべすハウス	高橋 渡邊	2	・石巻市内の生後4か月未満の親子	石巻市からの業務委託金	<ul style="list-style-type: none"> <li>■産後ケア開催総回数 17回</li> <li>■総参加組数 23組</li> <li>■総参加人数 46名 (大人:23名/子ども:23名)</li> <li>・うち、公認心理士らによる相談(21回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケアを利用した方全てにアンケートを記入して頂き、もう一度利用したいという回答も多く、満足したという回答が得て、自分は疲れていたんだと初めて感じた。「世の中の産後の母親はみんなもともと頑張っているのだからと自分を追い込んでいた」という回答が多く、産後間もない母親に対して、自分自身の体調と向き合う機会を提供できた。</li> <li>・利用された母親に、地域の子育て支援施設や相談窓口等の情報を提供することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケアを利用した方全てにアンケートを記入して頂き、もう一度利用したいという回答も多く、満足したという回答が得て、自分は疲れていたんだと初めて感じた。「世の中の産後の母親はみんなもともと頑張っているのだからと自分を追い込んでいた」という回答が多く、産後間もない母親に対して、自分自身の体調と向き合う機会を提供できた。</li> <li>・利用された母親に、地域の子育て支援施設や相談窓口等の情報を提供することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケアを利用した方全てにアンケートを記入して頂き、もう一度利用したいという回答も多く、満足したという回答が得て、自分は疲れていたんだと初めて感じた。「世の中の産後の母親はみんなもともと頑張っているのだからと自分を追い込んでいた」という回答が多く、産後間もない母親に対して、自分自身の体調と向き合う機会を提供できた。</li> <li>・利用された母親に、地域の子育て支援施設や相談窓口等の情報を提供することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケアを利用した方全てにアンケートを記入して頂き、もう一度利用したいという回答も多く、満足したという回答が得て、自分は疲れていたんだと初めて感じた。「世の中の産後の母親はみんなもともと頑張っているのだからと自分を追い込んでいた」という回答が多く、産後間もない母親に対して、自分自身の体調と向き合う機会を提供できた。</li> <li>・利用された母親に、地域の子育て支援施設や相談窓口等の情報を提供することができた。</li> </ul>
(8) その他、石巻市の復興に関する事業	9 復興住宅心の復興事業	非収益	石巻市内数か所の復興公営住宅の集会所にてコミュニティ形成と住民の生きがい創出のためのサロン活動やイベントの開催。	復興公営住宅の集会所・当団体のホールにて、住民のニーズに合ったサロン活動やイベントを開催する。サロンの講師は地域住民または復興住宅の、自宅再建の方々にお願いすることにより、出席と居場所を作る	石巻市内の復興公営住宅集会所にて、コミュニティ形成、住民の生きがい創出と自己回復を促すためのサロン活動を行っております。本年度はコロナウイルスによる自粛で、心身の健康被害の軽減にも力を入れた活動となりました。自宅再建による孤独を経験するため、地域や復興住宅という壁を外して交流する収穫祭や遠足も、時期を調整し計画、コロナ感染防止対策を取りながら実施しました。グラウンドゴルフも各地域から参加、男性の参加者が増加しております。また外部からのニーズと住民のニーズをマッチングしたイベントの企画・運営にはオンラインを使用するなど、できる限りのイベントの開催に努めました。自粛期間の運動としてやっべすヨガ教室をDVDで配布し、広報活動としてはYouTube Channel「ハバチャンネル」を開設、発信しました。	通年(前期からの継続事業) (期間は2020年6月～2021年3月)	石巻市内女川町内や宮城県内の復興住宅の集会所など	戸田 近藤	2	石巻市とその周辺の市町村にお住い	心の復興事業 被災者支援総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>■復興支援イベント76回実施 参加人数延べ人数1170名</li> <li>■バス遠足3回実施</li> <li>■コロナ自粛に伴う活動</li> <li>・脳トレリールの作成・配布 2回 合計100部</li> <li>・自粛期間中の課題制作 3種(コースターづくり・マスクづくり・水引結び)</li> <li>・電話による傾聴 50件</li> <li>・ヨガDVDの配布 20件</li> <li>・「すずめ」踊り用CDの配布 20件</li> <li>■地震発生に伴うこころのケア</li> <li>・電話等による傾聴 32件</li> <li>■住民の活躍推進</li> <li>・石巻市生涯学習課「まなび舎」に、「紙ひもでかご作り講座」登録</li> <li>・YouTube「ばばちゃんねる」にて動画配信 6回</li> <li>・新講座開催(布小物) 新講師 2名</li> <li>■他復興住宅でのバス遠足に伴う相談 1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者から新講師2名が誕生した。</li> <li>・石巻地域における高齢化による免許の返納による外出の減少、自宅再建に伴うコミュニティからの孤立が懸念されている中、交流の機会を創出できた。</li> <li>・コロナ自粛の時期は、電話で時間をかけて傾聴を行うことで、悩みや不安、孤独感の軽減となっており、実際に活動の中で住民の方からお言葉を頂戴している。また、その結果、コロナ禍の予防の一助となっているように感じている。</li> <li>・地震の発生後の安否確認の電話はひとり暮らしの方にとても感謝され、地震による心細さや不安(震災当時のフラッシュバック)の軽減になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者がイベントの開催(講師・スタッフ参加者)</li> <li>・受益者から講師を増やす。</li> <li>・企業とのコラボイベント(カゴメ健康講座→とだ近藤で講座を開く、カゴメたいそうの開催)</li> <li>・新資格取得3名</li> <li>・広報活動としてYouTube配信「ハバチャンネル」更新</li> <li>・実人数300人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催場所を増やし、お茶会からニーズをとりあて学びの場とする</li> <li>・毎月定期イベントはサークル化し、会計も任せる</li> <li>・全体をやっべすカレッジとし、スタッフは運営補助と心のケアをしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催場所を増やし、お茶会からニーズをとりあて学びの場とする</li> <li>・毎月定期イベントはサークル化し、会計も任せる</li> <li>・全体をやっべすカレッジとし、スタッフは運営補助と心のケアをしていく。</li> </ul>
(8) その他、石巻市の復興に関する事業	10 復興コーディネート事業	収益	被災地のニーズと被災地外の支援ニーズとをマッチングすることで、震災の風化を防ぐとともに、復興を加速させ、地域の活性化へと繋げる。	被災地での支援活動を希望する個人、企業、NPOに対し視察、ボランティア、研修などのプログラムを企画し、提供する。	現地のニーズと組み合わせながら、企業・大学・各団体の支援活動や社員研修、視察、スタディツアーのコーディネートを行っています。復興公営住宅でのコミュニティ形成支援、人口が減った地域での生業支援等、まだまだ支援を必要としている方々を支えるとともに、震災の風化を防ぎ、いつどこで起きてもわからない災害に対して、参加者の防災・減災意識を高める効果も期待しています。また「復興の過程」や「防災学習」、「女性の活躍促進」等をテーマに、代表理事等による講演活動やワークショップの実施にも力を入れており、被災地の現状を伝えたり、復興まちづくりにおける女性の役割やリーダーシップについて、お話ししています。	通年(前期からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	兼子 豊場 戸田 柏原 高橋	5	被災地での人材研修、ボランティア作業および視察を希望する個人、企業、NPOなど	自己資金、企業その他からの委託費	<ul style="list-style-type: none"> <li>■復興支援活動&amp;視察等の実績</li> <li>・三越伊勢丹(5月)</li> <li>・福澤ニター(7月)</li> <li>・MDRT日本会現地視察(10月)</li> <li>■講演・セミナー(オンライン)</li> <li>・東日本大震災から10年 時代に調和する新しい「つながり」のカタチ2021(実録編)→ポストコロナ社会に向けて～(6月)</li> <li>・JICA南スーダン平和復興(地方行政)基礎情報収集・確認調査オンラインワークショップ(南スーダンの地域社会再建に向けて)(10月)</li> <li>・石巻市教育委員会生涯学習課主催「親から子どもに贈るGIFT」講座(11月)</li> <li>・令和3年度新規採用職員フォロー研修(仙台市主催)(11月)</li> <li>・特定非営利活動法人いわて連携復興センター主催分科会「復興の過程」とともに、NPOの活動と役割はどのように変化していくのか(11月)</li> <li>政策文化総合研究所公開研究会「東アジアにおける文学と社会課題」(1月)</li> <li>■企業協働事業</li> <li>・カゴメ株式会社</li> <li>・トヨタ自動車(5月)</li> <li>・ベジタリアンカフェ(7・1月)</li> <li>・カゴメ健康教室(7月)</li> <li>頂いた雷から育てたトマトを使用したパン教室(8月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻圏域での企業研修やボランティア活動の受け皿として、またボランティアニーズを持つ石巻圏のNPOや市民活動とマッチングできるハブとして実質的に機能している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアニーズのある団体や活動のリサーチ</li> <li>・震災から月日が経ち、多様化する地域ニーズのリサーチ</li> <li>・業務の効率化</li> <li>・収益事業として提供価値を高めるための企画のブラッシュアップ</li> <li>・震災から10年目となり、他地域でも様々な災害が起きており、市外、県外ボランティアのニーズも変化してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響によって見通しが立っていないが、事業自体は今年度のように何らかの形で継続を検討している。また、団体における大きな財源の一つのためあらゆる方法を模索していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響によって見通しが立っていないが、事業自体は今年度のように何らかの形で継続を検討している。また、団体における大きな財源の一つのためあらゆる方法を模索していく必要がある。</li> </ul>
(2) 石巻市及びその周辺の復興に関する情報の発信に関する事業 (5) 石巻市内における雇用の創出及び起業の促進等に関する事業	11 グッズ販売	収益	被災の経験を生かした防災商品を販売し、防災意識の向上と被災時の被害軽減に尽力する。	無事かえるシリーズの商品監修、販促	無事かえるシリーズは、ナカジマコーポレーションの「かえるのピクルス」を防災商品化し、弊団体はその監修を務めています。弊団体では本商品を開発する段階で約100名の方々に被災時に何が必要だったかをヒアリングしました。食料、ライフライン面、衛生面、精神面、様々な意見を頂きました。また、私たちの経験も反映させながら考えました。2021年度に発売したホイッスルは普段から持ち歩けるようにピクルスのテーマつきです。ブルー、オレンジ、グリーンが色展開です。現在販売しているロングラン商品の無事かえるフェイスバグは、皆様ご自身で「災害が起きた時のために何をしておこうか」を考えて頂くことで防災意識の向上へつなげます。また、ぎゅっと抱きしめると不安を少し和らげてくれます。地域の防災訓練では、無事かえるピクルスのかわいらしさで、地域の方々とのコミュニケーションのきっかけにつなげることも期待しております。今後、災害が起きても平時から育まれた【つながり】と【防災意識】が私たちのみならず、大切な隣人をも守り、無事にかえることができることにつながります。	通年(前期からの継続事業)	全国	兼子 松坂	2	全国の防災意識を認識しているコミュニティ層	自己資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>■売上:¥115,250</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度と同様に、石巻市内はもちろん、ECサイト販売にてご注文を頂きました。</li> <li>・継続的に地域の防災意識の向上とつながりの育成の一助となることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在在庫の販促</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品展開</li> <li>・既存サイトのアップデート(主に商品画像)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品展開</li> <li>・既存サイトのアップデート(主に商品画像)</li> </ul>
	12 管理部門および共通	非収益	適切な事業管理と、組織運営を行うことで、活動の成果を最大限に高める。石巻の復興の現状や課題、団体活動の進捗を報告、発信することで、支援の継続や新たな支援の獲得に繋げるとともに、震災の風化を防止する。組織体制の見直し(事務スタッフの雇用を含む)、ルールや規約の整備、目標管理など組織内部のマネジメントを高め、事業推進力を向上させるとともに、スタッフがより力を発揮し、成果を生み出せる組織づくりを行う。また、組織の基盤強化を行うことにより、自主財源率の向上と自立的、自律的な組織経営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規定およびルールの策定</li> <li>・全体mtgの運営</li> <li>・理事会、総会の開催とその準備</li> <li>・監督官庁への報告</li> <li>・事業計画と事業報告の作成</li> <li>・総務・経理</li> <li>・人事(新スタッフの募集)</li> <li>・給与体制の見直し</li> <li>・メルマガ(やっべす通信)の発行(1回/3月)</li> <li>・ブログやFB、Twitterでの情報発信</li> <li>・活動報告会の開催</li> <li>・年次報告書の作成</li> <li>・各種取材、調査やアンケートへの対応</li> <li>・助成財団や支援者、行政や関係各所とのやりとり</li> <li>・寄付対応</li> <li>・いしのまき会議(いしのまき市民公益活動連絡会議)への理事としての参加</li> <li>・ウェブサイトの修正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コロナ禍による収入減少に対応(補助金申請等)</li> <li>◆3月13日、石巻市にて活動報告会の開催</li> <li>◆決算書類、事業報告書を税務署および所轄庁に遅滞なく提出した。</li> <li>◆各種保険、賃貸に関する取引の更新。</li> <li>◆日々の経理、総務に関する業務を遂行した。</li> <li>◆メールマガジンの継続発行(1回/3月)</li> <li>◆2021年度活動報告書発行</li> <li>◆賛助会員募集</li> <li>◆ブログやFB、Twitterでの情報発信</li> <li>◆各種取材、調査やアンケートへの対応</li> <li>◆無料職業紹介事業所の継続</li> <li>◆給与制度の改定</li> <li>◆個別面談</li> <li>◆新スタッフの採用</li> </ul>	通年	事務所	兼子 豊場 高橋 柏原 (真)	5		自己資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆これまでは、一部の事務局メンバーで事業計画や助成金の申請、報告を行っていたが、事業担当者中心となり報告等を行えるようになった。</li> <li>◆給与制度を改定し、個別に給与を設定することで、スタッフのモチベーションの向上、適正な賃金体制を構築した。</li> <li>◆コロナ禍のニーズに対応した事業展開を行うことができた為、行政等との関係との連携が強化された。</li> <li>◆引き続きプロジェクトマネジメントの手法を取り入れることで、事業担当者の意欲の向上、効率化に繋がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆経営状況の改善</li> <li>◆助成金頼りにならない仕組みづくり(寄付等)</li> <li>◆収益事業の改善</li> <li>◆業務の更なる効率化</li> <li>◆各事業の事業進捗管理、月一回の報告、事業毎の支出の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆徹底した情報共有</li> <li>◆団体の財務状況の把握と管理</li> <li>◆プロジェクトマネジメントを運用し、振り返りMTGの定期開催</li> <li>◆個別面談(年1回)</li> <li>◆報告書作成を念頭に置いて日常的に業務を記録していく。</li> <li>◆決算に向け小さなところから経費削減していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆徹底した情報共有</li> <li>◆団体の財務状況の把握と管理</li> <li>◆プロジェクトマネジメントを運用し、振り返りMTGの定期開催</li> <li>◆個別面談(年1回)</li> <li>◆報告書作成を念頭に置いて日常的に業務を記録していく。</li> <li>◆決算に向け小さなところから経費削減していく。</li> </ul>	

### 3 実施体制などに関する事項

#### (1) 総会の開催状況

##### ①通常総会

- ・開催日時 2021年5月30日(日)11時～12時
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 正会員総数10名出席(内、出席者7名、評決委任者3名、欠席0名 計10名)
- ・議事内容等 第10期事業報告に関する事項、第10期決算報告に関する事項  
役員の選任について、議事録署名人の選任に関する事項

##### ①第1回臨時総会

- ・開催日時 2021年8月6日(金)18時～19時
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 正会員総数10名出席(内、出席者10名、評決委任者0名、欠席0名 計10名)
- ・議事内容等 2021年度賛助会費の金額変更について、議事録署名人の選任に関する事項

##### ②第2回臨時総会

- ・開催日時 2021年2月1日(火)16時～17時
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 正会員総数10名出席(内、出席者5名、評決委任者5名、欠席0名 計10名)
- ・議事内容等 名称変更に関する事項、理事変更に関する事項

#### (2) 理事会および監査の開催状況

- ・2021年5月30日 内部監査  
内容：前年度の理事の業務遂行状況及び財産の状況の監査

##### ①第1回理事会

- ・開催日時 2021年5月30日(日) 10時～11時
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 理事総数4名出席(内、出席者4名、評決委任者0名、欠席0名 計4名)
- ・議事内容等 第10期事業報告に関する事項、第10期決算報告に関する事項  
第11期事業計画に関する事項、第11期活動予算に関する事項  
居住支援法人登録に関する事項、議事録署名人の選任に関する事項

##### ②第2回理事会

- ・開催日時 2021年5月31日(月)10時～12時
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 理事総数4名出席(内、出席者4名、評決委任者0名、欠席0名 計4名)
- ・議事内容等 代表理事などの互選に関する事項、議事録署名人に関する事項

##### ③第3回理事会

- ・開催日時 2021年7月1日(日) 18時～19時
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 理事総数7名出席(内、出席者4名、評決委任者3名、欠席0名 計7名)
- ・議事内容等 個人情報管理規定の制定に関する事項、議事録署名人の選任に関する事項

##### ④第4回理事会

- ・開催日時 2021年10月15日(日) 19時～21時
- ・開催場所 Zoom(オンラインツール使用)
- ・出席者等 理事総数7名出席(内、出席者5名、評決委任者2名、欠席0名 計7名)
- ・議事内容等 第11期事業経過報告に関する事項、議事録署名人選任に関する事項

##### ⑤第5回理事会

- ・開催日時 2021年12月14日(火) 15時30分～16時30分
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 理事総数6名出席(内、出席者4名、評決委任者2名、欠席1名 計6名)
- ・議事内容等 代表理事等の互選に関する事項、役員の報酬に関する事項  
第12期 組織運営に関する事項、議事録署名人の選任に関する事項

##### ①臨時理事会

- ・開催日時 2021年2月1日(火) 16時～17時
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 理事総数7名出席(内、出席者4名、評決委任者3名、欠席0名 計7名)
- ・議事内容等 理事変更に関する事項

#### (3) 会員に関する事項 (2022年3月末現在)

- ・社員(正会員)数：10人(個人10人)

#### (4) 役員に関する事項 (2022年3月末現在)

- ・役員総数：7人(理事6人、監事1人)
- ・代表者：理事(共同代表理事) 高橋洋祐 柏原としこ

#### (5) 職員に関する事項 (2022年3月末現在)

- ・職員総数：20人(うち、理事兼任3人)

#### (6) 情報発信体制に関する事項

- ・ホームページ  
団体公式ウェブサイト：<http://yappesu.jp/>  
Eyes for future公式ウェブサイト：<http://eyesforfuture-yappesu.jimdo.com/>  
石巻に恋しちゃった♡公式ウェブサイト：<http://ishikoi.com/>  
Amanecer公式ウェブサイト：<http://amanecer.ocnk.net/>  
おうち仕事公式ウェブサイト：<http://iviento.jimdo.com/>  
無事かえるリュック販売サイト：<http://bujikaeru.jimdo.com/>  
子育て世代包括支援センターいっしょissyoえきまえ：<https://issyroom.jimdofree.com/>  
ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業：<https://woman-ji.jimdofree.com/>  
創業支援WEBサイトやっぺすBiz：<https://www.yappesu-biz.com/>  
各関連Facebookページ有